

中央公民館

- ・ボニン浄土 (宇佐美 まこと)
- ・夏空白花 (須賀 しのぶ)
- ・縁結びカツサンド (冬森 灯)
- ・跳べ、暁! (藤岡 陽子)
- ・極上ひとりメシ (植野 広生)
- ・女帝 小池百合子 (石井 妙子)
- ・自分の中に毒を持って (岡本 太郎)
- ・首里の馬 (高山 羽根子)
- ・法廷遊戯 (五十嵐 律人)
- ・悪霊じいちゃん風雲録 (輪渡 颯介)
- ・ふるえるからだ (大西 智子)
- ・ブラックウエルに懂れて (南 杏子)
- ・物語の海を泳いで (角田 光代)
- ・ページユ (谷川 俊太郎)
- ・雑談の一流、二流、三流 (桐生 稔)
- ・人は話し方が9割 (永松 茂久)
- ・児童書

※ここに記載の他、多数の新刊図書が入っています。

衣奈会館

- ・ハンナのいない10月は相川 英輔
- ・ケーキの切れない非行少年 (宮口 幸治)
- ・人は、なぜ他人を許せないのか? (中野 信子)
- ・風を結う (あさの あつこ)
- ・88歳の自由 (富野 綾子)
- ・本を読める場所を求めて (阿久津 隆)
- ・ただいま神様当番 (青山 美智子)
- ・水を縫う (寺地 はるな)
- ・児童書
- ・「正確の空」

白崎会館

- ・一人称単数 (村上 春樹)
- ・江戸のおんな大工 (泉 ゆたか)
- ・スキマフラシ (恩田 陸)
- ・トツ! (麻生 幾)
- ・へんぶつ侍、江戸を走る (亀泉 きょう)
- ・類 (朝井 まかて)
- ・児童書
- ・「あつかったらぬげばこい」
- ・「どこどこかわいい」
- ・「いろいろばいばい」
- ・「どうなっているの?だんめん図鑑」

クイズの解答

① サバ・ご飯・塩・アセの葉

なれずしは、塩をまぜたご飯を塩サバで包み込み、さらにアセの葉で包みます。それを、重石を置いた樽の中に漬け込み、長期間寝かせ乳酸発酵させたもので、塩以外の調味料は一切使いません。

発酵させることによって、なれずし独特のつま味やにおいがでるため、現在では、お酢を使った早ずしが主流になっています。また、なれずしにシヨウガは付き物ですが、作る過程では使用しません。郷土の食文化のひとつとして、いつまでも残したいものです。



ゆらゆら

由良町公民館だより
2020 秋号
令和2年10月1日

- ・中央公民館 (日高郡由良町網代 248-12 TEL 65-2418)
- ・衣奈会館 (日高郡由良町衣奈 765-7 TEL 66-0921)
- ・白崎会館 (日高郡由良町吹井 910-2 TEL 65-3510)

灯下親しむ秋～読書～

日本国内で1年間に出版される本の総数は、文学・専門書・言語・児童書など、すべての部門で、毎年7万5千冊～8万冊といわれています。しかし残念なことに、現在においては、インターネットの普及などにより、子どもだけでなく大人の本離れ、活字離れが深刻な問題となっています。

インターネットが「海」なら、本は「水族館」。例えば魚に会うのを目的だとして、「海」なら闇雲に探すしかないけれど、「水族館」なら順路に沿えば必ず会うことができます。情報を得たいならインターネット、目的の知識を得たいなら読書というべきでしょう。

本を10冊読むと、1冊くらいは涙が出るくらい「感動」する本に出会えるのではないのでしょうか。そういう本に出会うことで自分の生き方を変えてくれるかもしれません。まず、一冊手にとって本を開いてみませんか。

ウォルト・ディズニー氏は、こんな名言を残しています。
「宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。そして何よりも宝を毎日味わうことができるのだ」・・・と。

由良町内の3公民館では、各館合わせて毎年800冊余りの文庫本・単行本を購入しています。生涯、心に残る1冊に出会われることを願い、多くの方のご来館をお待ちしています。

読書の秋



【10〜12月の行事予定】

中央公民館

*今年度の文化展、芸能発表会は、
新型コロナウイルス感染症の拡大
を防ぐため、中止となります。



ブックリサイクル

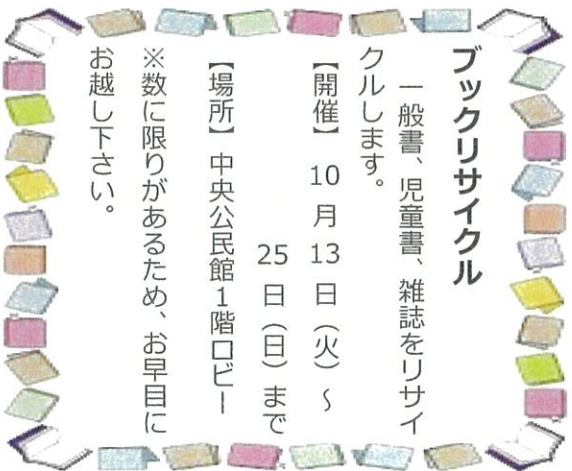
一般書、児童書、雑誌をリサイ
クルします。

【開催】10月13日(火)〜

25日(日)まで

【場所】中央公民館1階ロビー

※数に限りがあるため、お早目に
お越し下さい。



【講座のご案内】

*英会話教室

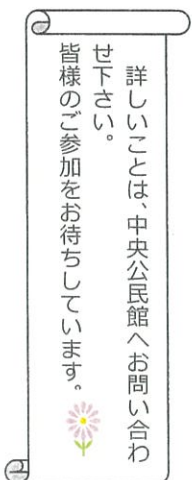
11月5日(木)〜1月21日(木)
第1・第3木曜日(全6回)
午後7時30分〜午後9時まで

*書道教室

11月8日(日)〜
午後1時〜午後3時まで
毎月第2日曜日
※ご自由な時間にお越しください。



詳しいことは、中央公民館へお問い合わせ
下さい。
皆様のご参加をお待ちしています。



【秋号・クイズ】

Q. なれずしの材料は？

秋祭りの時期になりましたが、今年
は楽しみにしている余興が中止となる
ところが多いかと思えます。

さて、お祭りに欠かせないのがお寿
司。その中でもわが由良町ではサバを
使ったなれずし(本なれ)が、秋祭りには
欠かせない料理として、古くから食
べられてきました。

このなれずしは、和歌山市からみな
べ町までの地域で食されていますが、
その材料は、次のうちどれが正しいで
しょうか。

- ① サバ・ご飯・塩・アセの葉
- ② サバ・ご飯・塩・酢・アセの葉
- ③ サバ・ご飯・塩・酢・
その他調味料・アセの葉
- ④ サバ・ご飯・塩・酢・
シウガ・アセの葉



『会員募集中』

中央公民館・衣奈会館・白崎会館では、
様々なサークル活動を行っています。
今回は、「由良詩吟教室」を紹介しま
す。

現在の会員数は10名で、中央公民館
では、毎月第2・第4水曜日(午後7時半
〜9時半)、白崎会館では、毎月第2・第
4火曜日(午後1時半〜3時半)、練習を
行っています。

詩吟とは、漢詩や和歌などを、独特の
節回しで吟ずる芸能です。

腹式呼吸による「発声法」の鍛練により、
心身共に健康増進、老化防止につながり
ます。また、歴史や文学といった教養が
豊かになります。

古今の漢詩に触れ、一緒に楽しみませ
んか。

初心者の方大歓迎です。

興味のある方は、

中央公民館(電話651-2418)

白崎会館(電話651-3510)

までご連絡ください。



【短歌】

降りつぎし雨後の夕風さはさとはわが竹つ庭をわたりゆくなり
雨止みて空見上ぐればくつきりと十六夜の月まなかひにあり
七十五年前の彼の目を訥々と語る父あり今聞き置かむ
日本の令和二年の春さびしコロナ・大雨に花見遠のく
葉の萎えて日差に耐ふる夕顔は今宵開かむ雷を持ちて
梅雨ぐもる休耕田の草むらにむくげのピンク一むら映ゆる
山際を刈りゆく草にからみたるあけびの蔓は二つ実をもつ
あぢさいの次に華やぐ百日紅ピンクの冴えてもり上り咲く

二本松 せつ子
塩路 弘子
山下 清美
中家 かよ子
坂田 ひろ美
大西 克恵
濱田 順子
細川 ミチ子

【俳句】

梅雨明けてモノの絵部屋に輝きぬ

ひこぼしを隠す線状降水帯

蝉時雨生死は同じ暗さもつ

空蟬の記憶に深き土の闇

観客の無き球場に夏燃ゆる

太陽は火種向日葵五千本

一瞬といふ重きもの広島忌

梅干しは丹精こめた母の味

洗ひたる白靴に紐とほす朝

男には男の仕事盆用意

潜水艦見送る蟬や由良港

網戸して隣家の窓の近くなり

山々をみんなん蝉の統べてをり

カンナ燃ゆ浦に火伏の地蔵あり

老鶯や今生く証詩の日々

「歩かねば歩かねば」として麦裃帽

梅雨明けてモノの絵部屋に輝きぬ

ひこぼしを隠す線状降水帯

蝉時雨生死は同じ暗さもつ

【川柳】

原爆忌平和の鐘に願い込め
祈り込め平和の鐘を鳴らしましょ
玉音の夏から平和築きあげ
平和です月の世界へゆく時代
戦争のしない世界を作るべし
あの子にもお腹いっぱい白い飯
七十年平和守った第九条
七十五回平和を祈る原爆忌
未来の子に平和のバトン届けたい
今昔の思いはいつも平和の日
コロナには平和乱され日々怒り
日本の平和乱され日々怒り

井口 きよみ
門田 明美
貴志 治郎
五嶋 恭子
高橋 義巳
田代 豊子
谷中 克己
中口 小夜美
中崎 枝美子
中崎 文香
西川 美代子
山下 きよみ

